

中井宮農経済センター 下中集出荷場にて、7月22日(土)に展示即売会を開催いたします！
詳細につきましては別紙チラシ、店頭提示、または窓口までお気軽にお問い合わせください！



【温州みかん】

病害虫防除 *下線が引いてあるものは重要防除です。

7月下旬～8月中旬 (温州みかんを除く) 収穫90日前 4回 (温州みかん) 収穫30日前 4回

○黒点病 ペンコゼブ水和剤 600倍 166g/水100㍓ 又は ジマンダイセン水和剤 600倍 166g/水100㍓

○カイガラムシ類 コルト顆粒水和剤 3,000倍 33g/水100㍓ 収穫前日 3回
チャノキイロアザミウマ

○ミカンハダニ メビウスフロアブル 3,000倍 33ml/水100㍓ 収穫7日前 2回
ミカンサビダニ
アザミウマ類

樹別摘果 (大津・青島)

裏年の樹は7月中旬に全摘果しましょう。

表年の樹は、この時期の摘果を控え、10月下旬からの仕上げ摘果で上を向いた極大果だけを摘果しましょう。

【不知火・はるみ・湘南ゴールド】

病害虫防除 黒点病の防除が重要となってきます。*温州みかんの項参照(ただし、収穫前日数には注意すること)

7月下旬～8月中旬

○ミカンハモグリガ エクシレルSE 5,000倍 20ml/水100㍓ 収穫前日
アザミウマ類

○ミカンハダニ メビウスフロアブル 3,000倍 33ml/水100㍓ 収穫7日前 2回

ミカンサビダニ
アザミウマ類

摘果

*不知火・はるみは樹勢維持のため、生理落果が始まったら樹冠上部1/3から1/4を全摘果します。

不知火は生理落果終了後に葉100枚に1果、はるみは7月下旬までに葉120枚に1果を目安に摘果します。

*夏季に乾燥を受けると高酸になりますので、灌水や敷き藁を行い、過乾燥を防ぎましょう。

*湘南ゴールドは7月20日時点で果実の横径が20mm以下(1円硬貨程度)と粗皮や上がり果の発生しやすい表層成りの果実をシンニング(摘果)する方法が有効です。

【キウイフルーツ】

病害虫防除 7月上旬～中旬

○果実軟腐病 ナリアWDG 収穫前日 2回 2,000倍 50ml/水100㍓

○キウイヒメヨコバイ モスピラン顆粒水溶剤 収穫7日前3回 2,000倍 50g/水100㍓
カイガラムシ類

○カメムシ類発生時 スタークル顆粒水溶剤 収穫前日 3回 2,000倍 50g/水100㍓

夏季剪定 止め葉が出る6月中旬ごろより夏季剪定を実施し、棚下の明るさを維持しましょう。

*晴天の日で、土の表面にとろとろ日が射す程度

乾燥防止対策 梅雨明け後の乾燥に注意。敷き藁や灌水を実施し、土壌の乾燥を防ぎましょう。

※ 網掛けの農薬につきましては医薬用外劇物となりますので、購入の際には印鑑が必要となります。

【かき】

病害虫防除 7月上旬～中旬

○フジコナカイガラムシ スミチオン水和剤 40 収穫30日前 3回 1,000倍 100g/水100㍓

カメムシ類・イラガ類

○うどんこ病・落葉病 ストロビードライフフロアブル 収穫14日前 3回 3,000倍 33g/水100㍓

カメムシ発生時の対策 7月上旬～10月下旬(夜間の飛来と加害が多いため、夕方に散布しましょう)

モスピラン顆粒水溶剤 収穫前日 3回 4,000倍 25g/水100㍓

*カメムシは山林から飛来して加害します。農薬散布後も、園内を良く見回しましょう。

摘果 (肥大促進・翌年の花芽分化促進)

7月中旬までに1結果母枝に2～3果、1結果枝に1果を目安に摘果をしましょう。この時期に摘果し肥大促進させないと、以後の肥大が悪くなります。

【いちじく】

病害虫防除 *下線が引いてあるものは重要防除です。

7月上旬(梅雨明け前)

○アザミウマ類

モスピラン顆粒水溶剤 収穫前日 3回 2,000倍 50g/水100㍓

キボシカミキリ

カイガラムシ類

○疫病

ランマンフロアブル 収穫前日 3回 2,000倍 50ml/水100㍓

7月下旬(梅雨明け後)

○ヒラメハダニ

コテツフロアブル 2,000倍 50ml/水100㍓ 収穫前日 2回

○さび病

トリフミン水和剤 収穫前日 3回 2,000倍 50g/水100㍓

土壌管理

いちじくの根は乾燥・過湿の両方に弱く、この時期の根の伸長具合が収量に大きく影響するので、梅雨期は排水し、梅雨明け後に乾燥が続く場合は灌水を10日に1回程度行いましょう。

*ただし、株枯病が発生している園では病気が蔓延する恐れがあるので、掛け流し灌水は行わない

【うめ】

病害虫防除 7月中旬～下旬

○黒星病・環紋葉枯病 トップジンM水和剤 収穫21日前 3回 1,500倍 66g/水100㍓

礼肥の施用 5月下旬～7月中下旬

(目的) 樹勢回復と翌年の花芽充実のため。一番重要な肥料なので、必ず施用しましょう。

梅配合 120kg/10a

【レモン】

病害虫防除 7月

○かいよう病・黒点病 コサイド3000 2,000倍 50g/水100㍓ 又は

イデクリーン水和剤 500倍 200g/水100㍓

(薬害軽減のためクレフノン200倍を加用する)

7月下旬～8月中旬

○ミカンハモグリガ・アザミウマ類 エクシレルSE 5,000倍 20ml/水100㍓ 収穫前日 3回

○チャノキダニ・シカバネダニ・アザミウマ類 ハルチカフロアブル(劇) 2,000倍 50ml/水100㍓ 収穫前日 2回

※コサイド3000、イデクリーン水和剤との混用は効果低減を招くのでしない。

【水 稲】

中干し 効果 ① 無効分けつを抑える ② 根の活力を高める ③ 倒伏に強くする
④ 田面を固くして秋のコンバイン等の作業性を高めるなど。

田面に軽くひびが入る程度を目安に、5日から1週間程度行います。(強い中干しはさける)
土壌中に酸素を送り根の健全な生育を促します。茎数が1株20本を超えたら実施しましょう。

追 肥 中干しが終わると、追肥の時期となります。

※元肥一発肥料を使用した場合には追肥の使用の必要はありません。

幼穂の長さが2cm前後になった頃を追肥時期の目安にしましょう。

キヌヒカリ・はるみ 出穂15日前頃 化成肥料 17-0-17 12kg/10a程度

さとじまん 出穂15日前頃 化成肥料 17-0-17 12~18kg/10a程度

てんこもり 出穂20日前頃 化成肥料 17-0-17 18kg/10a程度

※当組合で発行している作物別手引書(水稲欄)に記載のあるNKC-6号は銘柄集約により、名称が化成肥料17-0-17となりました。

○施肥時期の目安(5月25日植えの場合)

キヌヒカリ・はるみ 7月22日前後 てんこもり 7月22日前後 さとじまん 7月30日前後
葉色が濃い場合や茎数が多い場合は倒伏につながる為、追肥時期を遅らせ施肥量を減らしましょう。

○出穂期の目安(5月25日植えの場合)

キヌヒカリ・はるみ 8月6日頃 てんこもり 8月11日頃 さとじまん 8月13日頃

病害虫防除 7月中旬~下旬

○紋枯病 リンバー粒剤 3~4kg/10a 収穫30日前 2回

モンカット粒剤 3~4kg/10a 収穫14日前 3回

出穂30日前~出穂期に、株元にかかるよう散布

○イネツトムシ **パダン粒剤** 4 3~4kg/10a 収穫30日前 6回 常発地区は必ず散布

ニカメイチュウ 又は スミチオン乳剤 1,000倍 100ml/水100㍺ 収穫21日前 2回

○ヒメトビウンカ スミチオン乳剤 1,000倍 100ml/水100㍺ 収穫21日前 2回

※縞葉枯病の症状が出ている株を発見したら、株ごと抜き取り園外廃棄を行きましょう。

中後期除草に使用する2,4Dアミン塩について、有効分けつ終止期~幼穂形成期前まで、収穫60日前までとなっています。収穫前日数については十分注意しましょう。

水稲栽培講習会の開催について~追肥のポイントをつかむ!~

1. 日時・会場 **※雨天決行**

日付	時間	会 場	備 考
7/10(月)	① 10:00より	開成事業所 倉庫前	集合後、圃場へ移動します。
	② 14:00より	曾我みのり館 第2駐車場	
7/11(火)	① 10:00より	中井営農経済センター 倉庫前	集合後、圃場へ移動します。
	② 14:00より	栢山地区 (小田原市消防署栢山出張所付近)	会場に直接集合
7/18(火)	① 10:00より	福沢総合選果場	集合後、圃場へ移動します。

2. 対象者
JA かながわ西湘管内組員
(水稲栽培者)

3. 内 容 (予定:全日程共通)
①追肥について ②斑点米カメムシ対策について
③その他(「てんこもり」についてなど)

4. 講 師
農業技術センター

5. 申 込

7/4(火)までに営農部 営農指導課または最寄りの支店・センターまでお申込ください。

※全日程同じ内容ですので、希望する日程にご参加ください。

※水田にて稲の観察をしますので、雨・曇り対策を各自お願いします。

(問い合わせ)

営農部 営農指導課

TEL: 0465-46-6950

【お 茶】

病害虫防除 *下線が引いてあるものは重要防除です。

6月下旬~7月上旬

○輪斑病・新梢枯死症 カスミンボルドー 摘採14日前 2回 1,000倍 100g/水100㍺

※剪整枝後、できるだけ早く(3日以内)散布する。

7月中旬~7月下旬

○チャノミドリヒメヨコバイ コルト顆粒水和剤 摘採7日前 2回 3,000倍 33g/水100㍺

チャノキイロアザミウマ

チャトゲコナジラミ

※夏整枝後、2週間を目安に散布する。

①二番茶を摘採した場合の管理

整枝作業

整枝時期 二番茶摘採10日後を目安に、遅れ芽が出揃うのを待ってから行いましょう。

整枝位置 二番茶の摘採面

※整枝を怠ると摘採面が不揃いになりやすく、来年の一番茶の減収を招きやすいので、必ず行いましょう。

②二番茶を摘採しない場合の管理

整枝作業

整枝時期 7月上旬を目安に、二番茶芽が出揃うのを待ってから行いましょう。

整枝位置 一番茶摘採面の2~3cm上で行いましょう。ただし、二番茶芽が病害虫の被害で

十分に生育しなかった場合は、一番茶摘採面より数cm下で整枝します。

*整枝を怠ると芽数が少なくなり、株面の枝が不揃いになるため、来年の一番茶の減収を招くので、必ず行いましょう。

【く り】

病害虫防除 6月下旬~7月下旬

カミキリムシ類 トラサイドA乳剤 収穫14日前1回 200倍 500ml/水100㍺

葉にかからないように樹幹に散布します。

実炭疽病 ジマンダイセン水和剤 収穫7日前 600倍 166g/水100㍺

施 肥 7月中旬

化成肥料 14-14-14 20kg/10a(梅雨明け前に施用)

農薬を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。

☆中井営農経済センターからのお知らせ☆

① 回覧・注文書の取りまとめについて

- ・保有米袋・結束紐・コンバイン袋等
- ・春植馬鈴薯種子
- ・ヤマトのはかり
- ・野菜・果樹秋肥料・農薬
- ・JA 本職用土農具・小農具
- ・みかん関連資材

申込締切日: 令和5年7月7日(金)まで

・中井管内の方は、中井営農経済センター(到着)

・相和管内の方は、相和支店(到着)

・下中管内の方は、下中集出荷場(ポスト)・前羽ポスト・下中支店(到着)

までお届け下さい。